

給食週間の はぐくむ

今月の給食のテーマは『給食について考えよう』です。給食週間中の1月23日の献立は

セルフおにぎり 鮭の塩焼き
つけもの 根菜汁 牛乳

でした。



今から130年前に始まった給食のメニュー（おにぎり 鮭 つけもの）には、「給食について考える機会にしてください！」というメッセージが込められています。

昨年までの給食週間は、全学年で多目的ホールに集まり会食する場で、坂本栄養教諭からお話をしてもらいました。

今年はインフルエンザの流行時期と重なったので全校会食を断念し、各学年で給食の授業をしてもらいました。

5・6年生家庭科 1月23日（水）6時間目



『給食について考えよう』

給食の献立を考える時に、坂本先生が大事にしていることは何でしょうか？とクイズをだされて、みんなで考えました。

◆地産地消（食べてほしいもの 知っておいてほしいものを『南小国町の味』や『ふるさとくまさんデー』のメニューに入れていきます。

「今月はまいたけと大根でした。」と坂本先生が言うと、「あ、あの卵焼きおいしかった！」と味を思い出していたね。

- ◆栄養バランス ◆旬 ◆楽しい ◆量
- ◆調理能力 ◆味 ◆テーマ ◆調理法
- ◆文化 ◆カロリー ◆食材の数 ◆季節
- ◆行事食 ◆お金 ◆和・洋・中・・・・



「嫌いなものがある人に好きになってもらえるのが一番うれしいからがんばっています。」

「どうやったらこれを調理室で作れるか考えて。」「からだは成長するように」「あきないように」「豆ばかりといわれないように」「肉を使う量は決まっているから一週間で分散したりまとめたりしてボリュームを感じるように」などなど、「おいしい」や「おなかいっぱい」のためだけではない坂本先生の愛情や工夫がたくさんこぼれ出てきて、一ヶ月分の献立を考える坂本先生の様子が浮かんできました。

家庭では1ヶ月分の献立を考えることはないけど、一食の栄養のバランスがとれているかは、給食のように、『〇食・〇菜・〇菜』がそろろうようにするといいいよと教えてくれました。〇は何かわかりますか？給食みたいに！です。

1年生 学活 1月24日(木) 5時間目

九州の味～長崎～

佐世保バーガー 野菜
皿うどん 牛乳



をいただいた後の授業で、「今日の給食にはどんな食材が入っていたか？」を考えて3つのグループに分けました。

それぞれの働きから、給食は『栄養がまんてん』であることがわかりました。



次に、これはだれが何人で何人に作っているのか。一度、合同学習で見学はしましたが、今回新たに、キャベツを3回洗うこと、野菜やお米を冬でも冷たい水で洗うこと、誰かわからないくらい帽子やマスクをして調理していること、材料が100キロくらいになり、かかえたりとっても重いことなどなど・・・お話と動画で、自分たちのために一生懸命作ってくださっていることを知ることができました。



3・4年生 学活 1月24日(木) 6時間目



今日測った身長と体重の結果を配り、自分の成長を確認しました。

先生が読んでくれたお話のなかで、ぐんぐん背が伸びたその『秘密』は何だったか？

それは命令が出ていて、それもその命令ができるのは、男子が4～18歳ごろ 女子が4～16歳ごろなのだと。つまり今です！！

今のうちに骨を丈夫にして成長（体を大きく）するために毎日 ①食事（バランス・量） ②運動 ③眠る をたいせつにすることを教えてもらいました。

そこで、食事についてふりかえってみました。学校の給食では、苦手なものでも頑張ってお食べているものも、家では残したり、食べなかったりしていることがわかりました。

成長（体を大きく）するためには、「今」しかないのです。給食だけでなく、おうちでの食事でも、必要な量をバランスよく食べましょう！とまとめて終わりました。

（2年生は1月28日(月)です。）

きれいでわかりやすい電子黒板ですが、残念なことに、次々にページがすすめられたり、電源を off にすると、スッと消えてしまいます。

黒板も休み時間に日直さんが消してしまうとなくなりますが、スッと消えてしまうのではないような気がしています。

チャレンジ ゴールより得点が高い ラグビー
語尾に「！」がつくような指示や声をだすこともなく、はまったり無関係なことをしているようだがさりげなくほんだいにはいっていく これが の話術なのだというのを見ているわたしだけがきづくのでそうか

標ではなく、最低限のハードルを設定していけばいいワクワクさせてくれます。

継続可能な未来を創るために

分かち合う 育ちあう 積み重ねる つなぐ

より理解が深まる

中学校で大きな集団に入ることに戸惑うこともありますが一緒を楽しんだり、 たりした適応力をつかって

空前の ブーム

個性をフル活用して

聞く

たまたま出会う人を信じられるか 宮崎はやお

地元新聞のコラムに、「学びとは

ただ言われたことを言われたとおりにさせられることではなく、自分なりの問いを持ち、指導錯誤し、たっぷり失敗し、たっぷりその失敗やまた小さな成功体験の積み重ねから「自ら学んでいく」経験

信頼して、任せて、支える

基本

心地いい環境を自分なりに工夫する

これからの教育に必要なことは
楽しく学ぶ 考え方を学ぶ 常に最先端を学ぶ

周りの人が見つけてくれたよさ知ること、次の課題を見つけたりさらなる意欲の高まりにつながります。

ひきうけてくれる

たくす

はだになじむ

ゆたかに

ご存知の通り電子黒板はとても便利です。

きれいでわかりやすいし、先生たちも授業の準備で、効率的になったこともあります。

でも、です。

日曜日のテレビ番組で、あえて黒板を使うシーンを見て思いました。

黒板って「いい！」と、改めて思うことがあります。

先生が背中を向けている時間、何を書くのかな？と見えています。

チョークの音がします。

「間」があります。

先生はチョークの色や大きさを変えます。

先生の文字が、時間によってちがいます。